
ライチ

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライチ

【Nコード】

N0105R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

バレンタインにチヨコを一つも貰えなかった俺は……。

(前書き)

復讐だ！ 俺を見下した女共に復讐してやるんだあ！

『おおー!! こ、これが……! かの有名な楊貴妃が食べたという……。ん? いや……クレオパトラだったな? いやいや、違う。……小野小町って事は……、ないないない。うん。やっぱりそうだ! 楊貴妃であってる。……これを食べれば俺も……』

「あんた何泣きながら、ライチ貪り食べてるの!？」

いつの間にか、俺の前に姉が立っていた。

「あつ! アネキ! ……聞いてくれよ! 俺、この前のバレンタイン。一つもチョコ……貰えなかったんだ」

「で……、ライチを食べて美男子になろうと?」

「そうさ! かの有名な楊貴妃も美しさの秘訣の為に食べたという幻のフルーツ! これで来年、女子達を見返してやるんだあ!」

「本っ当に、あんたバカね。そんなの食べたからって、美男子になるわけないでしょう」

「アネキに俺の気持ち分かるのかよ!」

「だからあゝ。泣きながら食べなくても、いいじゃない……。それに、あんたチョコレート貰ったじゃん」

「いつ!? 誰に!？」

「あげたじゃん。わ・た・し・が……」

そう言って姉は部屋から出て行った。

『……チョコって、ポッキー1本じゃねえか!! 俺ってどこまで、
惨めなんだ……』

ライチを食べる手も止まり、ただうなだれるしかなかった。

「ねえねえ母さん聞いてよ。あいつつたらさ、バレンタインにチョコ貰えなかったからって、泣きながらライチ食べてるのよ。バカだと思わない?」

「そう? あつち見てご覧なさい。父さんもチョコ貰えなかったらしくて、今泣きながらレモンパックしてるわよ」

「も〜! 父さんまで! 私がポッキー1本あげたでしょ!」

(後書き)

ライチに美人・美男子になる効果はありません。美肌効果くらいで
しょうか。

もし、そんなのがあったら美容整形の必要性が……ねえ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0105r/>

ライチ

2011年10月8日01時25分発行